

2022
令和4年6月27日
第5号

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 インドネシア教育大とオンライン授業



インドネシア教育大とのオンライン授業風景

6月16日(木)、「地域経済論」をテーマに本校とインドネシア教育大とのオンライン授業が実施されました。授業には、同大の日本語学科で学ぶ学生15人と、本校の2年生25人が参加し、IT技術者に不可欠な課題発見や解決力について学びました。グループワークでは、日本への留学や就職を検討している学生のために、「報連相」の役割について討議されました。代々城雄大さん(石岡商高卒)は、「日本でも世界でも“できる企業人”となるには、『報連相』が大事だということが分かりました」と感想を述べていました。担当の榮智徳主査兼学科主任は「本校は、海外留学生の受け入れにも力を入れ、茨城県で活躍できる高度な技術を持った“人財”をより多く輩出したい」と授業の成果を振り返っていました。

<情報> インドネシアは5,110kmと東西に非常に長く連なる、世界最多の島国です。同国は赤道にまたがる1万3,466もの大小の島により構成されています。公用語はインドネシア語である。人口は2億7000万人を超える世界第4位の規模です。

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加え「社会人基礎力」向上のため、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 茨城新聞(2022年6月22日)
「2議席巡り いざ論戦」
きょう公示8氏の争いか



◇要約

●青山莞大さん(下館工高卒)
参院選が22日に公示される。現職の二人が引退する茨城選挙区では、これまでに8人の新顔が立候補の意向を表明している。投票日は7月10日、22日から18日間の選挙戦となる。

◇感想

●谷田菜月さん(鉾田第一高卒)
私も前回の選挙では18歳になったので初投票に行きました。投票できる権利をせっかく持っているので無投票にしないように今回も投票しに行きたいです。

●原田 悟さん(石岡商高卒)
私はもう投票できる年齢なので7月10日の選挙にもしっかり参加したいと思います。自分から動かないと何も変わらないので頑張りたいと思います。周りに知らない人がいたら教えてあげようと思います。

●加藤太一さん(勝田工高卒)
今回の記事を読んで分かったことは、投票は未来の自分への投票であるなと思いました。また、しっかりと立候補者を吟味して、投票する必要性があると思いました。

●小松夏希さん(水戸桜ノ牧高常北校卒)
若者の政治離れが問題視されている中で、SNSを利用した選挙戦はとても良いなと思いました。
18歳成人となり、私も大人の仲間入りです。選挙に行き、進んで社会に目を向けたいです。



2 みんなの母校訪問!

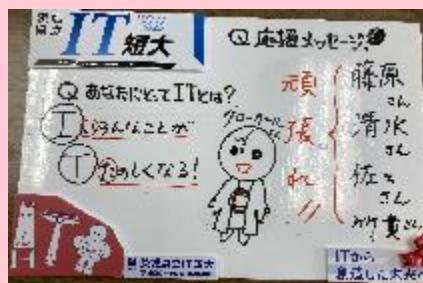
県立勝田高等学校



下山田芳子 校長

昭和48年創立の全日制普通科の高等学校で、令和3年4月に勝田中等教育学校が敷地内に開校されました。

下山田芳子校長は「伝統を活かし未来を拓く学び舎」と話されていました。また、「IT」は「I」いろいろなことが「T」楽しくなる との応援メッセージを頂きました。



学校パンフレットから

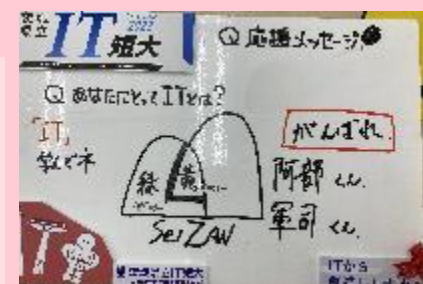
県立太田西山高等学校



大曾根宏昭 教諭

太田西山高等学校は、平成31年4月に開校した全日制普通科の学校です。校章は、伝統ある太田二高と佐竹高の統合を示しています。

第3学年主任の大曾根宏昭教諭は、「第一回の卒業生、がんばれ」と熱いエールを送って下さいました。



正門から臨む校舎



茨城県立産業技術短期大学校
URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500

